



冬号
第 261 号
令和 7 年
11 月発行

仁生園まつり ～笑顔と感動の一日～

令和七年十月十七日、「仁生園まつり」がついに開催されました。本年もコロナウイルス感染症の影響で開催が危ぶまれましたが、皆様のご理解と協力のもと無事に開催することができました。また、今年は酷暑であつたため、利用者、入所者の皆様の体調面を考慮して例年より遅い十月の開催といたしました。家族の参加制限が緩和され、年齢制限も撤廃されたことで、利用者様は久しぶりにお子様を含むご家族と触れ合い、心から楽しむことができました。

開会の挨拶は、小宮山理事長が務め、大柴邦彦北杜市長、浅川力三山梨県議会議員、大柴正和北杜市議会議長からも心温まるご挨拶をいただきました。まつりのスタートを飾ったのは、「淵の音太鼓」の皆様による迫力満点の和太鼓演奏。その力強い音色が会場全体に響き渡り、一瞬でお祭りの熱気を引き立てました。続いて、「華風舞姫」の皆様によるエネルギーッシュなよさこいが披露され、利用者様も手拍子を送りながら元気をもらいました。そして「レアロハハケ岳」の皆様による優雅なフラダンスが会場を彩り、異国情緒を感じさせてくれました。

さらに、松野康雄様のギター演奏も特別なひとときでした。懐かしさを感じさせる優しい歌声に会場全体が魅了され、心温まる雰囲気が広がりました。この素晴らしいまつりを成功させることができたのは、仁生園のスタッフ、日清医療食品㈱の職員の皆様、アトラクションに参加してくれた各団体の皆様、そして多くの利用者様とそのご家族の皆様のおかげです。皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

今年の仁生園まつりは、皆様の協力のもと、笑顔と感動に溢れる一日となりました。来年もさらに素晴らしいまつりを目指して、引き続き努力してまいります。



第四回防災講演会 「大地のつくりから災害を考える」

日時・令和七年九月二十九日（月）午後三時〇〇分～午後四時三〇分

場所・長坂町公民館小荒間分館

令和七年九月二九日、爽やかな秋の午後に、小荒間地域の防災を考える会が主催する第四回防災講演会が長坂町公民館小荒間分館にて開催されました。

講師には高根町郷土研究会会长長であり、元韋崎西中校長の内藤久敬先生をお迎えし、「大地のつくりから災害を考える」というテーマで講演が行われました。

・講演内容の概要…地域社会の役割と災害の種類 内藤先生は、地域社会が防災や減災の中心となるべきであることを強調されました。災害が地域特有であることを指摘し、自然災害、人為災害、特殊災害に分類されることについて詳しく説明いただきました。

・日本の自然災害と事前の準備 自然災害が多い日本において、事前の準備と対策の重要性を、具体的な事例を交えながら示されました。

・歴史的火山活動とその影響 御嶽火山や宝永火山の噴火など、歴史的な火山活動が地域に及ぼした影響について、科学的な視点から詳述されました。

・山梨県の地質とプレートの動き 山梨県が三つのプレートの上に位置し、その地質がいかに地域の地震活動に影響を与えていたかを説明されました。

・地域の地形と水系の特性 八ヶ岳南麓の地形や水系の特性について解説し河川の合流による危険性を指摘されました。

・災害教育と歴史的碑文の意義 災害の教訓を後世に伝えるための碑文やその言葉の重要性について文化的な視点から語られました。

・災害予防と被害軽減のための心得として、「転ばぬ先の杖」や「石橋をたたいて渡る」などの心得を紹介されました。

講演終了後、参加者からは講演が非常に興味深く、地域の防災意識を高めるための重要な機会となつたとの声が多数寄せられました。内藤先生の豊富な知識と経験に基づく講演は、参加者に多くの啓発を与えるものでした。

参加者の声
講演終了後、参加者からは講演が非常に興味深く、地域の防災意識を高めるための重要な機会となつたとの声が多数寄せられました。内藤先生の豊富な知識と経験に基づく講演は、参加者に多くの啓発を与えるものでした。



令和七年度 第二回 総合防災訓練実施報告

愛寿会からは常務理事仁生園長竹中（小荒間の防災を考える会理事）、第二仁生園長小林（法人事務局長久保倉（小荒間の防災を考える会事務局長）、事務企画部長坂本、リーダー青山（防火管理）が参加をさせていただきました。今回の講演会は、地域の防災意識を向上させる貴重な機会となり、今後の防災活動に向けた具体的な取り組みの指針となることでしょう。次回の講演会にも多くの参加者を迎えて、地域の安全に向けた活動を確実に進めてまいります。

通報訓練では、緊急時に冷静に状況を伝える難しさを改めて実感しました。いざという時に慌てずに対応するためには、日頃からの準備と心構えが重要であることを再確認しました。

初期消火訓練では、消防器および屋内消火栓を実際に使用し、その操作方法や避難訓練では、簡易担架を使用して要避難者を搬送する方法を学びました。この訓練を通じて、体力と連携が必要であり、実際の災害時にはチームワークが不可欠であることを痛感しました。訓練後には、消防署の隊員の方々から具体的で実践的なアドバイスをいただきました。これにより、今後は、防災体制の見直しや訓練計画の改善に向けた貴重な指針を得ることができました。

最後に、今回の訓練にご協力いただいた北杜消防署の隊員の皆様に、心より感謝申し上げます。専門的なご指導と温かいご対応により、社員一同大変有意義な時間を過ごすことができました。



今後も継続的に防災意識を高め、万が一に備えてまいります。
以上、ご報告申し上げます。



令和七年九月十八日・九月二十六日、北杜市より百寿のお祝いをして頂きました。いつも元気に楽しく過ごして頂けるように、職員一同精一杯お世話をさせて頂きます。お健やかにご長寿を迎えること、心よりお慶び申し上げます。



十一月四日に、すし会食が行われました。誕生会のイベントとして、年一回企画されたこの会食は、利用者の皆様にとって特別なひと時となりました。フロアには、色とりどりの寿司が並びました。マグロ、サーモン、玉子、のり巻きなど、人気のネタが勢ぞろい。利用者の皆様の目の前で職人が握ってくれる様子に、皆様の表情が「ぱつ」と明るくなり、笑顔があふれていきました。「久しぶりに本物の寿司を食べた」「もっと食べたい」と話す方もいて、食の力を改めて感じました。

会食を通じて、会話も自然と弾み、普段よりも活気のある雰囲気に包まれていました。食事は単なる栄養補給ではなく、心を満たす大切な時間なのだと実感しました。

このような温かい交流の場を作つて下さったスタッフの皆様に、心より感謝申し上げます。今後も笑顔が広がる機会が増えたら良いと思います。



百寿のお祝い

特別養護老人ホームに生園

秋の紅葉ドライブのご報告



グループホーム「やすらぎ」では、秋の訪れとともに、待望の紅葉ドライブを再開しました。今年は暑い夏を終え、涼しさを感じる間もなく、冬のような寒さを迎えましたが、絶好のドライブ日和となりました。

目的地は富士見方面。八ヶ岳の紅葉は例年より茶色がかつて来ましたが、心配は無用でした。小淵沢に向かう途中で、日当たりの良い場所に広がるもみじのトンネルに出会い、入居者の皆様からは「わあキレイ」と感嘆の声が上がりました。オレンジや緑そして鮮やかな真っ赤な紅葉が目を楽しませてくれました。

馬術場前の桜も渋い赤に染まり、道の駅に続く道では「コントラストがキレイ」と絶賛の声が聞かれました。八ヶ岳横断道路から鉢巻き道路を経て、テニスコートやミニゴルフ場の駐車場に到着。降車した入居者様は芝生の遊歩道を散策しつつ赤な紅葉の下で記念撮影を楽しみました。その後、車内で持参したジュースとお菓子で一休み。原村の別荘街を抜け、広大な畑の中をドライブしながら「八ヶ岳の西と南はこんなに違う」などの会話で盛り上りました。「スキーで降りたら気持ちいいでしようね」といった声も聞かれ

最後には仁生園へ無事に戻りました。

今回のドライブで、どこが一番良かったかを尋ねると「どこもきれいだったが、雲一つない青空の中の外出が一番」との声が多く寄せられました。皆様にとつて、素晴らしい秋の一日となつたことを嬉しく思います。



グループホーム「こあらま」

心温まるピアノのひととき

十月二十四日、グループホーム「こあらま」のフロアにて、丸山久美先生によるピアノボランティアが開催されました。こあらま・やすらぎの入居者様が参加され、会場は温かい雰囲気に包まれました。

十月二十四日、グループホーム「こあらま」のフロアにて、丸山久美先生によるピアノボランティアが開催されました。こあらま・やすらぎの入居者様が参加され、会場は温かい雰囲気に包まれました。

演奏開始前、ドレスに着替えた丸山先生の姿に皆様は「ほら、あのドレス見てごらん。きれいだね」と口々に感嘆の声を上げていました。演奏が始まると、誰もがその音色に聞き入る中、紙芝居交えた弾き語りが披露されました。題材が桃太郎だったこともあり、「懐かしいね。」という声が聞かれ、皆様楽しまれていきました。

十月二十三日から十八日の午後、秋の運動会を開催しました。参加者は赤組と白組に分かれ、キヤブテンによる選手宣誓で、会場は一気に盛り上がりました。



仁生園アイサービスセンター

～秋の運動会～

十月十三日から十八日の午後、秋の運動会を開催しました。参加者は赤組と白組に分かれ、キヤブテンによる選手宣誓で、会場は一気に盛り上がりました。

プログラムは「玉入れ」から始まり、「車椅子リレー+ビン立て競争」や、早口言葉を言つてからボールを回す「ボール送り」など、多彩な種目が行われました。参加者の皆さん声を掛け合いながら楽しみ、笑い声

が絶えないひとときとなりました。「勝負は燃えるね」「いい運動になつた」など、嬉しい声もたくさんいただきました。



～恒例の干し柿作り～

後半では、秋の童謡を中心に歌詞カードを見ながらの合唱が行われました。普段は歌うことを見送られる方も、馴染みのある曲が流れると口ずさみ、「子供の頃よく歌つたのよ」と笑顔があふれています。目の前で奏でられるピアノの音に皆様が魅了され、多くの感謝の言葉が寄せられました。今後も、このように心温まる音楽のひとときを提供し、皆様に楽しんでいただける機会を増やしていただきたいと思います。



十月二十日、毎年恒例の干し柿作りを行いました。参加者の皆さん慣れた手つきで柿を剥き、「もうなくなつちやつたの?」「早く食べたいね」といった声が飛び交いました。作業中には昔話に花を咲かせる場面もあり、和やかな時間が流れました。秋の味覚を楽しむ日が待ち遠しいです。





ご寄付を頂きました

令和七年九月二十九日、苦情解決委員の浅川一宏様から、タオル・石けんを、小宮山ひろみ様からタオルのご寄付を頂きました。

タオル・石けんは利用者様のために使わせて頂きます。お心遣いに、深く感謝申し上げます。

愛寿会のサービスへのご意見・ご要望等がございましたら左記までご連絡ください。

仁生園 電話 0551(32)3340
第二仁生園 電話 0551(32)8270

社会福祉法人愛寿会

後援会より

(令和七年九月一日)
(令和七年十一月二十五日)

お心遣いをいただき
心から感謝申し上げます

社会福祉法人愛寿会

今井 一久
新海 信子
蒲地 輝直
小林 英治
溝口 志づ江
沼田 康司
今井 まゆみ
保彦 様様
清水 様様
英治 様様
志づ江 様様
輝直 様様



「甲斐市ラザウォークへ外食」
十月、四日間に分けて
ラザウォーク甲斐双葉店
へランチ外食に出かけました。
出掛ける前から、「何
を食べようかな」「あの
店のハンバーガーを食べ
よう」「私は丸亀うどん」と、
楽しく待ちの皆さんでした。
ランチの後は、ハロウィンで賑やかな飾りの店
内を散策して帰つてきました。

一番人気はこれでした！



遊休品の寄贈について

令和七年十一月十九日、北杜赤十字奉仕団長坂分団より、地域社会への温かいご支援として、多くの遊休品を寄贈していただきました。これらの寄贈品は、私たちの活動において大いに活用させていただきます。

北杜赤十字奉仕団長坂分団の皆様には、日頃から地域の福祉活動に多大なるご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今回の寄贈により、より一層地域住民の皆様の生活を支えることができるよう、努めてまいります。

今後も、地域と共に歩み、支え合う社会の実現に向けて、活動を続けてまいりますので、皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。



- ◆御用の方はインターネットにて、ご用件をお伝えください。
 - ◆来園者全員のお名前を伺い、検温をします。
 - ◆最少人数でご来園ください。
 - ◆体調に少しでも不安がある方は、事前に来園をお控えください。
- ☆正面玄関横にてガラス越しでの面会及び、施設から「FaceTime」を利用した面会に加え、喫茶いこいでのアクリル板越しの面会を再開いたしました。

- ◆電話による事前予約が必要です（電話をいたいたい日の一週間後から予約を承ります）。
- ◆来園前の二週間は、ご自宅で体温を測つて下さい。
- ◆面会時間帯は午前九時半～十一時の間で十五分間です。
- ◆少人数での面会にご協力ください。
- ☆仁生園では、ご家族様のお持ちの iPad、iPhoneを利用した「テレビ電話形式」の面会が可能ですのでご活用ください。希望される場合は、ご予約ください。
- ※感染症の状況に応じ、急な面会制限をする場合があります。お電話でお問い合わせいただけ、当法人のホームページにてご案内しておりますので、ご活用ください。

仁生園へご来園の皆様へのお願い

求人募集



社会福祉法人 愛寿会

福祉総合生活支援センター 仁生園

障害者支援施設 第二仁生園

介護保険サービス

特別養護老人ホーム仁生園



定員 132 名

仁生園ショートステイセンター



定員 19 名

仁生園デイサービスセンター



定員 25 名

仁生園介護相談センター



定員 100 名

障害福祉サービス

グループホームやすらぎ・こあらま



定員 9 名 2 ユニット

障害者支援施設第二仁生園



定員 30 名

第二仁生園ショートステイセンター



定員 3 名

第二仁生園相談支援センター



【募集内容】

1. 介護職員、生活支援員

特別養護老人ホーム・ディサービス・グループホーム・障害者支援施設

給与 愛寿会の規程による(前歴加算あり、有資格者平均年収 430 万円) 賞与年 2 回・処遇改善

各種社会保険完備 各種手当あり(通勤、住居、扶養、寒冷地、特殊勤務・特殊業務、夜勤勤務他)

月 164 時間勤務 年間休日 120 日 シフト制・ユニホーム貸与・無料 Wi-Fi 接続可・試用期間あり

<シフト内容> ●早番 7:00~16:00 内 1 時間休憩 ●日勤 8:00~17:00 内 1 時間休憩
●夜勤 17:00~9:00 内 4 時間休憩

2. 看護師（正看、准看）

特別養護老人ホーム・ディサービス・グループホーム・障害者支援施設

給与 愛寿会の規程による(前歴加算あり、平均年収 470 万円) 賞与年 2 回・処遇改善

各種社会保険完備 各種手当あり(通勤、住居、扶養、寒冷地、特殊勤務・特殊業務、オンコール他)

月 164 時間勤務 年間休日 120 日 シフト制・ユニホーム貸与・無料 Wi-Fi 接続可・試用期間あり

<シフト内容> ●早番 7:00~16:00 内 1 時間休憩 ●日勤 8:00~17:00 内 1 時間休憩
●遅番 9:00~18:00 内 1 時間休憩

【お電話またはメールにてご相談ください】

連絡先 社会福祉法人 愛寿会 本部事務局 採用担当 統括施設長 竹中まで (平日 8:00~17:00)

〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間菅間 1293 番地

TEL:0551-32-3340(代表) FAX:0551-32-3546

URL:<http://www.aijyukai.com>

E-Mail:jinseien@poem.ocn.ne.jp



Facebook ホームページ